

東横堀 水辺新聞

e-よこ会がお届けするまちの魅力



e-よこ会 情報

イベント・行事案内

小型船の基地をめざして 「本町橋BASEプロジェクト」 10月始動!

東横堀川にかかる、来年100歳を迎える大阪最古の現役橋・本町橋のそばに、小型船の基地「本町橋BASE」を設け、水辺の賑わいをつくる実験。水辺の使いこなしにチャレンジするイベント「水都大阪フェス」にあわせ、小型船クルーズや水辺のテラス席が登場します!

本町橋・水辺テラス 10月

本町橋近くの川沿いに立地する2つの店舗が、10月1カ月限定で、水辺のテラス席を設けます。東横堀川独特の落ち着いた水辺空間を、この機会にお楽しみください!

Bacaro MA DECOR

お昼はランチ、夜は小皿が楽しめるイタリアン居酒屋。ピアノやギターによる、アコースティックライブも定期的に開催。

中央区本町1-1-3 本町橋西ビル地下1階
TEL. 06-6264-6202
ランチ 11時半～14時 カフェ 14時～18時 いったんクロスあり
ディナー 18時～23時 水休



四川彩秀

水辺テラス期間中の限定メニューとして、ディナータイムに、小皿料理(500円)をご用意。メニューはその日のお楽しみ。テラスで、気軽に中華料理を味わってみてください。

中央区安土町1-2-4 ミツルプラザ地下1階
TEL. 06-4705-0123
11時～14時半 土休
17時～22時半 日休

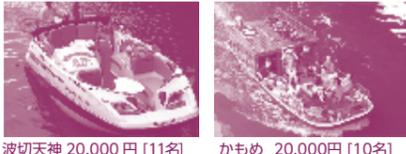


e-よこ会 情報

小型船の基地をめざして 「本町橋BASEプロジェクト」10月始動!

小型船チャーター クルーズ 10～12月

10～12月までの3ヶ月間、本町橋船着場に小型船を係留し、チャータークルーズを行います。中之島クルーズや、夕日を眺めるサンセットクルーズ、夜には橋のライトアップクルーズなど、好みの時間とコースを設定できます。実験期間中は、ご利用いただきやすいよう、特別にクルーズご希望日の前日正午までのお申し込みが可能に!(通常は3日前まで) 季節や時間帯に応じたお薦めコース、近くのレストランのテイクアウトや飲み物片手に楽しむ等、クルーズがさらに楽しめるアドバイスもいたします。お気軽にお問い合わせ下さい。



波切天神 20,000円 [11名] かもめ 20,000円 [10名]



リバーシャトル 18,000円 [9名] XELHA 20,000円 [12名]



OPUA 20,000円 [12名] MRD 18,000円 [9名]

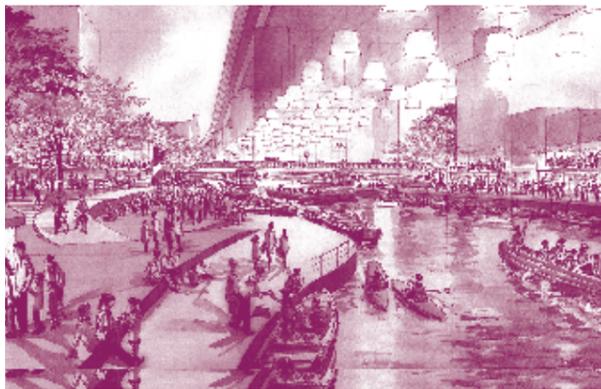
※上記、全艇1時間の料金です。

2012年 10月1日(月)～12月28日(金)まで

本町橋船着場発着
定員・料金: 舟によって異なる
申込: e-よこ会事務局 大阪商工会議所地域振興部内
TEL.06-6944-6323 平日9時～17時
※クルーズご希望日の前日正午までにお申し込み下さい。
※潮の高さなどにより運航できるコースが限られることがあります。
主催: 大阪商工会議所、大阪小型水上旅客船協議会、東横堀川水辺再生協議会
共催: 水都賑わい創出実行委員会

本町橋周辺に、水辺の賑わい拠点を!! 「本町橋BASE」を提案

本町橋上流左岸で行われている「平成の太閤下水工事」終了(平成25年度予定)にあわせ、本町橋周辺を小型船の拠点「本町橋BASE」として整備していくことを、e-よこ会、舟運事業者等で検討し、本年6月に大阪商工会議所から提案しました。「大阪府市都市魅力戦略」においても、今後整備すべき5つの新たな水辺のシンボル空間の一つに指定されており、具体的な整備計画を大阪市等と検討していきます。本町橋周辺の整備や活用にご関心、ご意見などございましたら、ぜひ事務局までお寄せください。みなで魅力的な水辺をつつていきましょう!



イメージパース

水都大阪フェス 2012

2012年
10月1日(月)～31日(水) トライアルマンズ
10月13日(土)～21日(日) チャレンジウィーク

水辺の魅力の使いこなしにチャレンジする事業「水都大阪フェス2012」。「大阪水辺バル」や、まちあるきプログラムを束ねた「大阪まちあるきCUP」で、水辺とまちなかを巡り大阪の魅力を再発見するとともに、中之島公園では「水辺ピクニック」が楽しめます。ラバーダックも再び登場!

詳細は <http://www.osaka-info.jp/suito2012/>
主催 水都賑わい創出実行委員会

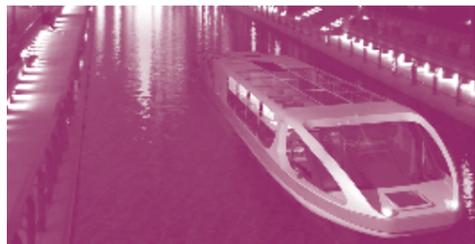
本町橋橋洗い &電気船クルーズ

来年100周年を迎える本町橋を、デッキブラシを使って、みなできれいに洗いましょう。橋洗いの後は、世界初のリチウムイオン電池による電気船でクルーズはいかが?船上から、美しいデザインの本町橋を眺めるとともに、橋やこの界隈にまつわる歴史等を学びます。

2012年11月10日(土)

橋洗い 10時～12時 / 電気船クルーズ 11時～12時

集合 9時50分に、本町橋北東詰(シティプラザ大阪南側エントランス)
料金 橋洗いは無料
電気船クルーズは500円/人(当日申し受けます)
クルーズの定員は80人(40人乗り、30分クルーズを2回)
申込先着順
申込 e-よこ会事務局 大阪商工会議所地域振興部内
info@e-yokobori.jp もしくは FAX. 06-6944-6330
氏名、連絡先をご記入の上、11月2日(金)までにお申し込み下さい。
主催 汎愛連合振興町会、中大江西連合振興町会、東横堀川水辺再生協議会、大阪府中央区役所、大阪府建設局
※電気船クルーズは、東横堀川水辺再生協議会による主催。



電気船完成イメージ

大阪水辺バル 2012

2012年
10月13日(土)・14日(日)

水辺の飲食店約130店舗が参加し、それらを船で巡る「大阪水辺バル」。今年は9つのエリアで2日間実施します。東横堀エリアも19店舗が参加。ご近所のお店から遠方のお店まで、各店自慢のバルメニュー(ワンドリンク+ワンフード)を「はしご」してください!
また本町橋船着場そばの公園では、14日に音楽ライブも開催(運営協力:メキシカンバー・mu)。

時間 11時～29時 営業時間は店舗により異なる
チケット 前売り3200円 当日3500円(一冊5枚つづり)
予約・購入
<http://osaka-mizubear2012.seesaa.net/>
でお申し込みいただくか、水辺バル参加店舗でご購入下さい。
主催 大阪水辺バル推進協議会
共催 水都賑わい創出実行委員会、大阪商工会議所

東横堀川 映像エンターテイメント・ クルーズ

船から投影される映像や光を楽しむクルーズ。川の両岸や高速道路の柱に、ジンベイザメや様々な魚の映像が映し出され、東横堀川がバーチャルな海になります!

2012年10月18日(木)・19日(金)

第1便 18:00～18:25
第2便 18:45～19:10
第3便 19:30～19:55
第4便 20:15～20:40



本町橋船着場発着
定員 16人/回
料金 無料
主催 東横堀川・堂島川ライトアップ実行委員会
申込 伴ピーアール株式会社
TEL. 06-6314-6772 E-mail: info@banpr.co.jp

まちあるき 東横堀 見聞録

「天下の貨の七分は浪華にあり」

e-よこ会の名物ガイドの案内で、東横堀界隈の名所旧跡や、知る人ぞ知る名店を訪ねます。水門見学や老舗店主に教わる水引き細工体験、足湯など。一緒に歩いてみませんか。
10月20日(土)・11月24日(土) 9時半～12時 大阪証券取引所・1階ホール集合 ※雨天決行
定員 各回15人 参加費 1500円 主催 大阪コミュニティーズ推進連絡協議会(大阪あそ歩)
協力: e-よこ会 お申込み・お問い合わせ 大阪あそ歩委員会 TEL.06-6282-5930 平日13時～17時

e-よこ会 情報 プレゼント

1 大阪小型水上旅客船協議会さまご提供 「秋バラ小型船クルーズ」 ペアチケット3組

「水都大阪フェス2012」のメイン会場となる中之島公園。そこに咲き誇る秋バラを、船上から楽しむクルーズ。21日(日)までは、ラバーダックも、間近で眺められます!
10月15日(月)～10月28日(日)
11時～16時半、毎時00分、30分発
中之島公園ローズポート発着
各回10人(申込不要)

2 東横堀川水辺再生協議会提供 「電気船クルーズ」 ペアチケット3組

世界初となる、リチウムイオン電池による電気船が、この秋、水都大阪に登場します。11月10日の本町橋橋洗いの後に、電気船に乗って、本町橋はじめ、東横堀川にかかる美しいデザインの橋を楽しみます。
11月10日(土) 11時～11時半
本町橋船着場発着
ハガキに、住所・氏名・電話番号・メールアドレスと、「e-よこプレゼント希望+希望プレゼント番号」を明記の上、下記までご応募ください。
〒540-0029 大阪府中央区本町橋2-8
大阪商工会議所 地域振興部内 e-よこ会事務局宛
※応募締切: 2012年10月5日(金) 必着
当選された方に、チケットをお送りします。

訂正とお詫び 前号(No.10) e店コーナー、モリタ万年筆店の電話番号に誤りがありました。正しくは、Tel.06-6222-5121となります。読者のみなさま、ご協力いただきました関係者のみなさまにご迷惑おかけしましたこと、お詫び申し上げます。

e-よこ会とは?

2006年7月24日、天神祭のどんどど舟の音が響く東横堀川で、住民やこだわりショップのオーナー、地元企業などが集結し、e-よこ会(東横堀川水辺再生協議会)が発足しました。「まちなかに生きる東横堀川」を目指し、季節ごとに水辺を楽しむイベントの開催、毎月のお掃除、橋へのフラワーボットの設置など、川を生かしたまちづくりに積極的に取り組んでいます。どなたでもご参加いただけます。一緒にe-よこ界隈を楽しみましょう!

水辺の定期清掃活動
毎月14日は「e-よこの日」。河岸公園や橋の上を皆で清掃します。e-よこ会メンバーでない方も大歓迎。持ち物は不要。動きやすい服装でお越しください。
8時半～9時15分 ※雨天中止
集合 平野橋南側河岸公園 清掃用具庫前 主催 e-よこ会(水辺活用部会)

会長 別所俊顕(少彦名神社宮司)
会員 地元住民 地元ショップ・企業の就業者 地域で活動するNPOや団体のメンバー
他地域のサポーター他 約90名
事務局 大阪商工会議所 地域振興部(2012年9月現在) e-よこ会ホームページ www.e-yokobori.jp

発行 | e-よこ会(東横堀川水辺再生協議会)
編集 | e-よこ会広報部会(小森利絵 廣井真由美 杉本容子 萬代陽子 森井道雄 森田稔 西村由樹子 磯上慶子)
デザイン | 有限会社オルタ・デザインアソシエイツ 印刷 | 株式会社光陽社
問合せ先 | Tel.06-6944-6323 発行日 | 2012年9月 助成 | (財)河川環境管理財団 河川整備基金

eよこ会の人気シリーズ講座

ソーシャルカレッジ (ダイジェスト版)

開催済みのカレッジの内容をご紹介します。

第43回 今日からできる水辺の魅力づくり

2012年4月27日(金) 開催

【場所】辰野ひらのまちギャラリー

【講師】杉本容子氏 (株)ワイキューブラボ 代表取締役

久しぶりの水辺テーマの講師として登場いただいたのは我らがeよこのまちづくりオブザーバー、杉本容子氏。会の創設以前は高速下の川も界隈もやや暗いイメージがあったが、eよこや界隈の会などの様々な取り組みの積み重ねで変化を遂げてきたこの5年。フラワーポットも設置の橋をギャラリーに見立てた「えはがき」展示などは、屋外ながら高速道路という屋根の下である特異な条件だからこそこの企画であつたり、水都大阪の折には川面が見える高さに川舞台が設置され様々なイベントを催した。小型船係留や北浜船着き場なども期間限定ながらそれまでであれば驚きの社会実験の実現であった。中之島や北浜、道頓堀でも数年前までは夢のような話だった水辺の空間利用が驚くほど広がり現実となっている。「夢の話ではなく、ちょっと頑張れば「できる」を形にしていけるのが仕事」と言う氏の言葉が印象的だった。その頑張りはもちろん「ちょっと」ではなかったのは想像に難くないのだが、この5年の活動や、法の改正などと相まって更に目標は上がっていく。最後に映し出された更なる未来図は一見これまで以上に実現不可能にも思えるが、いやいやなんの、また5年後が楽しみでもある。



文・写真 / 萬代陽子

第44回 重要文化財de春のお茶会

2012年5月25日(金) 開催

【場所】小西邸

【講師】片野眞一氏 谷松屋戸田商店

通常非公開の重要文化財・小西邸にて、eよこ選抜特別コラボ企画として春のお茶会を開いた。茶道を知らない方も空間に親しみやすくというコンセプトの元、早々に老若男女様々な方からご応募頂きました。お点前・お道具は谷松屋戸田商店、生菓子は菊寿堂義信、結納品の渋谷利兵衛商店、コニシポンドでお馴染みの旧小西家、この界隈ならではの老舗の粋が集結。ガラス越しで無い美術品を間近にした感動を活字にて伝えるのは難しい、募集でも書いた様に茶道を知らなくても感じて愉しめるものなのだ。解説に誰もが熱心に耳を傾けていたのが印象的だ。空間を共にした方々が鉄釜の煮える音、美しい生菓子を味わい、ライトアップされた庭を眺め、お座敷を通して船場商人の生活に触れ、みるみる緊張もほぐれ笑みがこぼれてゆく…邸内周遊する頃には小西社長を取り囲みお話が尽きないといった場面もあった。又今回は着物特典という初の試みもあり着物姿もチラホラこの特典、週末の協力店が現ればさぞ華やかだろうと思われる。満場のアンケートを頂いた中には具体的記載と是非次をとの声も頂いた。いつの間にも知れぬけれど毎月のカレッジならではの企画達共々お見逃しなく! 担当者としては参加者の熱意と界隈ならではの風土と心意気というか…懐の深さを垣間見たひと時でした。



文 / 西村由樹子 写真 / 森田隼

第45回 eよこ講座 旭堂南陽氏を迎えて

— 平清盛ミニ講座と WORKSHOP 修羅場読み

2012年6月8日(金) 開催

【場所】大阪産業創造館15階

【講師】旭堂南陽氏 講談師

旭堂南陽氏を迎えてのeよこ講座はひと味違う。折しもドラマで話題の平清盛ミニ講座に続きeよこソーシャルカレッジならではのいつもの体験!「修羅場読み」。今回取り上げたのは「宇治川の一歩渡り」の一節。入門すると最初に習う、と言うか練習するらしい修羅場読み。読み方・語りの基本なのだろうか。「ゆっくりと、あまり息継ぎ無く。繰り返して読み方に変化を付けて。擬音はリズムよく。」最初喋り言葉のように早口だった読みも、指導をされつつ繰り返すうちに淡々と且つずしり、それでいてリズムよく読めるようになってくる。お腹から声が出てくると顔に汗もじむ。なかなかの運動だ。さらに数名の方に前に出て語って頂くと合の手のリズムを入れるのが難しいものの、なかなかどうして、皆さん立派な語り手だ。普段音楽とのコラボ、ジャズ講談などもされる南陽氏。トークのリズムも小気味よく、講談と共にまだまだ聴き足りない!と言うあつという間の2時間だった。そんな講談に興味を持たれた方、今回は聞き逃した!と言う方、また音楽とのコラボって?と言う方は南陽氏のHPなどチェックして是非足を運んでみてください



文・写真 / 萬代陽子

第46回 eよこ選抜クローージングコラボ

パーカッションワークショップ

2012年6月14日(木) 開催

【場所】葎屋橋南側公園

【講師】オル・トグン氏 ミュージシャン・ダンサー

eよこ選抜のクローージングピクニックに合わせたパーカッションワークショップ。講師はミュージシャンでダンサーのオル・トグン氏。音の出るものなら何でもOK!ということで参加の皆さん思い思いの「音の出るもの」を持ってお集まり頂いた。夕暮れ時の葎屋橋のたもと、ピクニックの参加者も飲みほしたビール空き缶を持って参加。言われるままにリズムを刻んでいくと最初ぎこちなかったリズムもだんだんと体を揺らして刻みだす。さらにリズムに追われてヒートアップすると汗もじむが息も上がってくる。しばらく休憩を兼ねてのピクニックタイムを挟みほろ酔いで再開するとリズムもほろ酔い?でいい感じ。東横堀川のほとり、夕暮れから夜空へと変わる中、音とリズム、人と風。とても開放的なワークショップとなった。今回講師のオル・トグン氏がリズムのリードをとっていた楽器は「ジャンベ」という西アフリカの太鼓。まるで会話をしているような打楽器に興味を持たれた方はパーカッションレッスンへ。はたまた日常の忙しさを忘れ、頭をからっぽにして体でリズムを感じたければライブをチェック!



文 / 萬代陽子 写真 / 西村由樹子

ソーシャルカレッジ 開催予定 参加者募集!

第49回 SPレコードコンサート

2012年11月17日(土) 15時スタート

【場所】大阪聖ヨハネ教会 糸屋町2-1-11 参加費 | 500円

講師 | 川村輝夫氏 元KBS京都ディレクター 音楽評論家・映画評論家 手回し音響機及びSPレコードの蒐集家 大阪石橋聖トマス教会聖歌隊長

内容が変更される場合があります。詳細は、www.e-yokobori.jp/scd.html より「部会のブログ」をご覧ください。 要予約 eよこソーシャルカレッジ部会 e_yoko_socialcollege@yahoo.co.jp または FAX.06-6222-0212 アカシヤシステムプラザ(株)内 受付時間 月～金 9時～18時

まちのあの場所 e処

本町橋西詰に移転してきた「三橋楼」

— 賓客接待、土佐藩主、大阪会議、西南戦争陸軍参謀本部ゆかりの料亭

おさ ちに 長谷吉治 大阪龍馬会幹事

江戸期から明治にかけて石町(こくまち)にあった料亭「三橋楼」は、現在、天満橋ニュースカイハイツ(中央区石町1-1-11)というマンションがある場所にあった。永田屋昆布本店の南西に位置し、石崖および石垣の上にそびえ建つマンションといえればお分かりいただける方も少なくないと思う。

「三橋楼」は、明治16年(1883)7月18日の朝日新聞に、石町から本町橋西詰少北へ入西側に移転し旅館業も兼ねて営業している、という広告を出している。

「三橋楼」は難波橋、天神橋、天満橋が見え、眺めがよいことからこのような店の名前がつけられた。旅人が利用する八軒家船着場の船宿とは違い、「三橋楼」は格式の高い料亭だったようで、幕末浪花の食いだおれ「花の下影」という書物にも紹介されている。

土佐藩主山内氏はこの料亭を大いに気に入り、庭に土



朝日新聞 明治16年7月18日 移転広告



「発翰日記 完 大阪三橋楼 1」 (国立公文書館 アジア歴史資料センター)



「花の下影—幕末浪花の食いだおれ」(清文堂出版)で紹介された「三橋楼」



子供たちの地蔵盆

東横堀川界隈にも街のお地蔵さんが今もあります。農人橋北西付近の曲り淵地蔵尊、釣鐘町にある延命山日曜地蔵院です。

今年も8月23日、24日(お盆中の旧暦7月24日を1日遅らせたもの)に、釣鐘町の地蔵院で地蔵盆が行われていました。たくさんの親子連れがお参りしており、子供たちは楽しそうに遊んでいました。地域の方々がかき氷や飲み物等を準備され、子供たちに振舞われていました。もちろん大人にも、屋台も出ており賑やかでした。大阪のビルの谷間にも昔からの風情が今も残っていることは嬉しいものです。

文 / 森井道雄 写真 / 森田隼



まちのこの店 e店

串ダイニングSOL(ソル)

Tel.06-6201-5115 ランチ 平日 11時半～14時 ディナー 17時～26時 日祝休 中央区高麗橋 2-4-13



独り日頃の憂さ晴らしにカクテル「あの人にはもうコリゴリ!!」(時価)もいかが?愚痴を発散した上にそのネタに応じた痛快なモノをパーテンさんが作ってくれるかも?!なんと恋人紹介カクテルなる物も存在する。既に数組カップルも誕生したそう。あなたの周りで彼女が居ない男性社員を見かけたら、試しにオススメしてみても?オーナーさんが密かに希望を聞いてくれるかもしれません。帰る頃にはちょっぴり元気になってる...そんなお店です。



文・写真 / 西村由樹子